



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月13日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 大  
 コード番号 9723 URL <http://www.kyotohotel.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平岩 孝一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)柳瀬 光義 (TEL)075(211)5111  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	5,029	—	72	—	△109	—	△16	—
23年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△1.65	—
23年12月期第2四半期	—	—

平成23年12月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成23年12月期第2四半期の経営成績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	19,607	1,861	9.5
23年12月期	19,863	1,907	9.6

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 1,861百万円 23年12月期 1,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	3.00	3.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,450	7.3	440	93.4	73	25.5	76	—	7.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期2Q	10,338,000株	23年12月期	10,338,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期2Q	57,794株	23年12月期	57,520株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期2Q	10,280,296株	23年12月期2Q	10,281,282株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が徐々に薄れつつある一方、欧州債務問題に伴う円高の長期化や株式市況の低迷などの下押し要因が重なり、重苦しい雰囲気が続きました。

京都のホテル業界におきましては、国内観光客はほぼ順調に回復してきましたが、欧州からの外国人観光客の回復は捗々しくないままに推移しました。

当社ではこのような環境の中、京都ホテルオークラ内のカフェ「レックコート」の改装により、テイクアウト商品の販売拡充を図りました。一方からすま京都ホテルにおきましては、屋外を眺望できる朝食をメインとした宴会場新設に加え、一部の客室改修を進めながら集客に努めてまいりました。とりわけ6月には京都での国際会議開催に伴う大型宴会を受注しました。また、2月より新規事業として京都府立医科大学付属病院の病院食事業という新たな分野を展開しております。

こうしたことの結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,029,257千円、営業利益は72,711千円となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。なお、当社は第1四半期より連結財務諸表を作成しておりませんので、以下の前年同期比は各期の単体決算に基づいて記載しております。

#### 宿泊部門

京都ホテルオークラでは、欧米からの外国人旅行が伸び悩みましたが、国内エージェント経由の団体、個人旅行、インターネット予約が順調に推移したこともあり、売上高は前年同期比83,093千円増となりました。

からすま京都ホテルは、インターネットを中心とした個人予約と欧米を除く外国人旅行が団体・個人とも回復基調となり、売上高は前年同期比38,281千円増となりました。

この結果、全体の売上高は1,396,579千円(前年同期比9.5%増)となりました。

#### 宴会部門

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、件数、人数ともに増加しました。また、一般宴会におきましても同様に、宴会件数及び人数が増加傾向にあり、売上高は前年同期比102,488千円増となりました。

からすま京都ホテルは、修学旅行が減少したものの、朝食をメインとした宴会場「オリゾンテ」を新設したことにより朝食売上が順調に推移し、売上高は前年同期比80千円増となりました。

この結果、売上高は全体で1,744,480千円(前年同期比6.2%増)となりました。

#### レストラン部門

京都ホテルオークラは、トップラウンジ「オリゾンテ」での朝食及びランチの入客数が増加したことに加え、鉄板焼「ときわ」、フレンチレストラン「ピトレスク」も堅調に推移いたしました。また、カフェ「レックコート」では改装効果による惣菜販売が好調であったことも売上増に寄与し、売上高は前年同期比19,570千円増となりました。

からすま京都ホテルは、お食事処「入舟」、中国料理「桃李」が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比36,485千円増となりました。

この結果、売上高は全体で1,322,481千円(前年同期比4.4%増)となりました。

その他部門

その他部門の売上高は565,715千円（前年同期比47.3%増）となりました。

前年同期と比較して増加している主な要因としては、京都ホテルオークラ別邸京料理「栗田山荘」におきまして、ランチメニューの「山荘弁当」が好調に推移しているほか、披露宴の増加が挙げられます。また、新規事業として京都府立医科大学付属病院の病院食を開始したことや、通販部門などでレトルト食品「特製総料理長カレー」などの新商品を販売したことなどによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)
宿泊部門	1,396,579	27.8
宴会部門	1,744,480	34.7
レストラン部門	1,322,481	26.3
その他部門	565,715	11.2
合計	5,029,257	100.0

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ255,420千円減少し、19,607,591千円となりました。

負債につきましても、前事業年度末に比べ208,972千円減少し、17,746,416千円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ46,448千円減少し、1,861,175千円となり、自己資本比率は9.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、支払利息の減少や法人税等の還付などにより、前事業年度末に比べ162,149千円増加し、当第2四半期会計期間末には894,013千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は583,156千円となりました。これは主に利息の支払いが171,542千円であったものの、減価償却費359,996千円などがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は170,929千円となりました。これは主に有形固定資産の取得169,751千円による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は250,077千円となりました。これは主に長期借入金の減少が190,000千円などがあったことによるものです。

(4) 業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の通期業績予想につきましては、平成24年2月9日に公表いたしました業績予想から、本日公表の「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり修正を行っております。

また、平成24年12月期第2四半期の業績予想の修正につきましても、本日「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しておりますので、ご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	731,864	894,013
売掛金	460,784	449,871
原材料及び貯蔵品	90,227	63,590
前払費用	71,559	70,596
繰延税金資産	34,011	41,658
未収還付法人税等	220,863	—
その他	14,541	11,740
貸倒引当金	△407	△255
流動資産合計	1,623,445	1,531,216
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,350,902	12,187,717
構築物(純額)	107,453	99,241
機械及び装置(純額)	46,623	46,629
車両運搬具(純額)	86	25
工具、器具及び備品(純額)	223,447	238,424
土地	5,049,750	5,049,750
リース資産(純額)	57,804	80,317
建設仮勘定	—	4,410
有形固定資産合計	17,836,068	17,706,515
無形固定資産		
ソフトウェア	11,525	10,431
リース資産	61,629	46,838
電話加入権	4,429	4,429
無形固定資産合計	77,584	61,699
投資その他の資産		
投資有価証券	101,206	101,580
関係会社株式	20,384	21,368
長期前払費用	131,363	113,108
差入保証金	33,027	32,488
会員権	9,500	9,500
繰延税金資産	26,162	27,025
その他	11,623	11,590
貸倒引当金	△7,353	△8,500
投資その他の資産合計	325,913	308,160
固定資産合計	18,239,567	18,076,375
資産合計	19,863,012	19,607,591

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	250,368	172,679
短期借入金	1,817,000	1,817,000
1年内返済予定の長期借入金	780,000	820,000
リース債務	55,442	61,878
未払金	517,729	523,227
未払費用	173,366	227,191
未払法人税等	12,356	11,060
前受金	59,192	70,571
預り金	128,677	159,333
前受収益	47,654	27,177
その他	48,008	42,677
流動負債合計	3,889,796	3,932,798
固定負債		
長期借入金	12,925,000	12,695,000
リース債務	73,864	75,597
退職給付引当金	59,945	55,426
役員退職慰労引当金	42,185	38,590
長期預り保証金	964,597	949,005
固定負債合計	14,065,592	13,813,618
負債合計	17,955,388	17,746,416
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	950,000	950,000
資本剰余金		
資本準備金	209,363	209,363
資本剰余金合計	209,363	209,363
利益剰余金		
利益準備金	12,342	15,427
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	762,719	711,807
利益剰余金合計	775,062	727,234
自己株式	△24,546	△24,645
株主資本合計	1,909,879	1,861,951
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,256	△776
評価・換算差額等合計	△2,256	△776
純資産合計	1,907,623	1,861,175
負債純資産合計	19,863,012	19,607,591



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	
室料売上	1,357,918
料理売上	2,178,192
飲料売上	393,043
雑貨売上	266,370
その他売上	833,733
売上高合計	5,029,257
売上原価	
料理原料	637,163
飲料原料	84,281
雑貨原価	204,464
その他原価	168,994
原価合計	1,094,904
売上総利益	3,934,353
販売費及び一般管理費	3,861,641
営業利益	72,711
営業外収益	
受取利息	23
受取配当金	1,627
受取手数料	2,824
その他	3,948
営業外収益合計	8,424
営業外費用	
支払利息	169,507
雑損失	21,114
営業外費用合計	190,622
経常損失(△)	△109,486
特別利益	
受取補償金	122,345
特別利益合計	122,345
特別損失	
固定資産除却損	30,634
貸倒引当金繰入額	1,200
特別損失合計	31,834
税引前四半期純損失(△)	△18,974
法人税、住民税及び事業税	6,401
法人税等調整額	△8,388
法人税等合計	△1,987
四半期純損失(△)	△16,987

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△18,974
減価償却費	359,996
貸倒引当金の増減額(△は減少)	994
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,519
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,595
受取利息及び受取配当金	△1,651
支払利息	169,507
固定資産除却損	30,634
受取補償金	△122,345
売上債権の増減額(△は増加)	10,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,637
仕入債務の増減額(△は減少)	△77,688
未払金の増減額(△は減少)	△52,892
その他	100,082
小計	417,150
利息及び配当金の受取額	1,651
利息の支払額	△171,542
損害賠償金の受取額	122,345
法人税等の還付額	220,863
法人税等の支払額	△7,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	583,156
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△169,751
無形固定資産の取得による支出	△1,157
その他	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,929
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△390,000
リース債務の返済による支出	△29,284
自己株式の取得による支出	△99
配当金の支払額	△30,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250,077
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	162,149
現金及び現金同等物の期首残高	731,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,013

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。